2018月5月7日　PBL課題

課題1　画像lenna.256を読み込み，白黒反転した画像を出力するkannsuu1.cを作成せよ．ただし，画像を格納する変数は2次元配列を使用し，反転の処理は関数unsigned char shirokuro(unsigned char a)を用いること（aは各画素の値が入り，戻り値は反転した各画素の値）．

課題2　画像lenna.256を読み込み，白黒反転した画像を出力する kannsuu2.cを作成せよ．ただし，画像を格納する変数は2次元配列を使用し，反転の処理は関数void shirokuro(unsigned char f[][256], unsigned char g[][256])を用いること（fは入力画像，gは出力画像）．

課題3　画像lenna.256を読み込み，白黒反転した画像を出力する kannsuu3.cを作成せよ．ただし，画像を格納する変数は1次元配列を使用し，反転の処理は関数void shirokuro(unsigned char \*f, unsigned char \*g)を用いること（fは入力画像，gは出力画像）．1次元配列と2次元配列ではどのような違いがあるか考察せよ．

課題4　整数型静的配列a[N]（Nは任意の値）を宣言するだけの memory1.cを作成せよ．また，整数型変数\*aに動的なメモリを確保するPGM memory2.cを作成せよ．確保する配列数を変化させ，違いを考察せよ．

課題5　 課題3で作成したkannsuu3.cにおいて，入力画像と出力画像を格納する配列を動的に確保するPGM memory3.cを作成せよ．配列は1次元とする．